

## 「YTT(特定非営利活動法人 四日市の交通と街づくりを考える会)との探究学習」

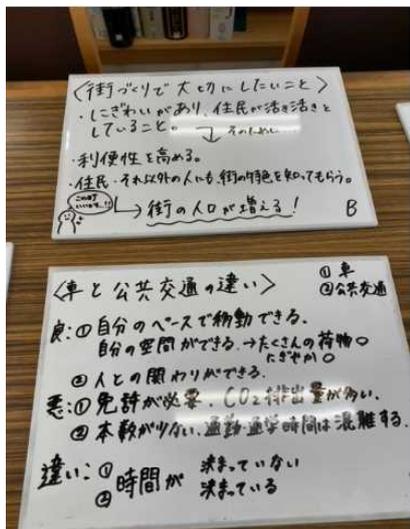
6/17(土)、6/24(土)、本校図書館にて2回にわたり NPO 法人「YTT(四日市の交通と街づくりを考える会)」との探究学習が行われました。YTT の副理事長である宗像基浩さんをはじめ、メンバーの方々を講師にお招きし、お話を伺いました。また、四日市市役所都市計画課公共交通推進室室長の藤田貴さんも来てくださりました。

本学習は、「未来の四日市市を考えてみよう」をテーマに、自分達が考えた四日市市の未来の街づくりについて「高校生の意見書」として提言するものです。



第1回の学習では、「街づくりにおいて大切にしたいこと」について宗像さんから講義を受けました。講義の中で、車のメリット・デメリットを考える問いかけがありました。普段意識しない車社会の在り方考える機会を得たことで、生徒達は街づくりにおいて、交通や景観等、様々な視点で考えることの必要性を実感できました。

講義を踏まえ行われたグループワークでは「街づくりで大切にしたいこと」「車と公共交通機関の良い点、悪い点」について話し合い、意見をまとめて発表を行いました。あるグループでは維持費と利便性のバランスを考えたり、また他のグループでは利便性を高めるために財源確保をどのように進めたら良いか考えたりと様々な意見があり、発表や質疑応答などの対話を通して主体的に探究学習に取り組むことができました。



第2回の学習では、自分達が考えた四日市市の未来の街づくりについて「高校生の意見書」として提言しました。

まずはじめに、前回学習した四日市市の現状や課題について振り返り、それらを皆で共有した上で、「2040年に自分がどんな暮らしをしたいのか」、そして「その暮らしを実現する為にどんな街を創りたいか」ということを考えました。生徒達は活発に意見を交換し、理想の街の在り方と公共交通との繋がりを考えながら未来の四日市市をデザインしました。続いて、その未来の街を実現する為に、自分がこれからどのように行動していくべきなのか、具体的な取り組みを考察し、グループごとにそれらをまとめました。

今年は何のグループも公共交通の整備やICT技術の発展によって、より効率的な生活が生まれ、ワークライフバランスが一層重視される社会になると考えました。そのような社会で、住みたくなる街はどんな街かという視点で話し合いが為されていきました。

最後のプレゼンテーションでは公共交通機関と地域の商店街が連携したイベントを行うことで地域を活性化させる案や、街の緑化の際、植樹する樹を街の歴史と関連させて選ぶ案などが発表されました。また理想の街づくりを実現するために自分ができる行動として、地域の清掃ボランティア活動に継続して参加する、街の予算の使い方や自治会の役割を知る、といった意見が挙げられました。

生徒達は2回にわたる探究学習において、「街づくり」という視点を通して、自己と社会の関わりから課題を見出し、よりよい社会を実現するため、主体的に行動しようとする意欲を高めることができました。また、グループワークやプレゼンテーションの際には講師の宗像さんより、思考の手順や、相手に伝わる話し方の構成について適宜アドバイスを頂きました。



生徒達は、普段なかなか接する機会のない社会人、それも社会の課題に向き合う、熱意ある大人と関わることで大きな刺激を受けることができました。

